

令和6年度第1回奈良市環境基本計画推進会議の意見の概要	
開催日時	令和6年10月24日（木）午前10時00分から11時30分まで
開催場所	奈良市役所 北棟6階 601会議室
参加者	出席者6人、事務局4人
開催形態	公開（傍聴人1人）
担当課	環境部 環境政策課
案件	1. 「第3次奈良市環境基本計画」令和5年度実績評価コメントのとりまとめについて 2. その他
資料	【資料1】令和5年度（2023年度）実績評価コメントとりまとめ案 【資料2】令和5年度（2023年度）実績評価コメント抜粋 【資料3】令和5年度（2023年度）実績担当課自己評価シート 【資料4】令和5年度（2023年度）指標評価結果一覧 【資料5】「第3次奈良市環境基本計画」指標及び評価方法等 【資料6】令和6年度（2024年度）指標別点検評価基準表（案）
意見等の内容	
<p>《意見を求めた内容及びそれらに対する意見等》</p> <p>（1）「第3次奈良市環境基本計画」令和5年度実績評価コメントのとりまとめについて</p> <p>「第3次奈良市環境基本計画」令和5年度（2023年度）実績評価コメントのとりまとめについて、各指標に関する令和5年度実績及び担当課の自己評価に対して、参加者皆様からいただいたコメントを事務局で整理した。</p> <p>そのとりまとめ案及び総括コメントとりまとめ案について出席者に意見を求めた。</p> <p>○質疑・意見の要旨</p> <p>＜基本方針①（シートNo.1～2）について＞</p> <p>【No.1】学校園での環境出前講座開催数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校3年生に実施している「ECO キッズ！ならの子ども」事業について、小学校3年生以降のフォローアップコースを検討しているか。</li> <li>→検討している。小学校5、6年生をフォローするため、企業主催の環境教育を受けさせていただけないか、企業に接触を持ち始めている段階である。</li> </ul>	

- ・環境出前講座については、環境政策課だけに关わるものだけでなく、例えば廃棄物対策課の食品ロスに関することもあると思うが、講座開催数をカウントしているのは、環境政策課の講座だけであるのか。環境政策課だけでなく、食品ロス等のごみ問題は廃棄物対策課にも関わっているのでは、連携できればと思う。

→現状は、環境政策課の講座数のみのカウントである。今後は、実績のカウントの方法など他課の講座も含めるかどうか検討していく。

#### 【No. 2】環境保全活動に参加したいと思う市民の割合

- ・参加しやすいようなイベントと記載してあるが、具体的な案はあるのか。  
→具体的な案はない。ただ、「エコアイデアコンテスト」という事業を既に実施しており、子ども対象の事業であるが、子どもを中心に様々な人に入ってもらいたいという思いがある。保護者を中心に多くの人に関わっていると思う。
- ・子どもを対象としたイベントには、保護者も関わるので、その結果多くの人に関わることになる。そのため、子ども中心のイベントをしっかりとやっていけばいいのではないか。
- ・評価コメントとりまとめ案に記載している「親御さん」との表現は変えたほうが望ましい。  
→「保護者」など表現を変更する。
- ・エコチャレンジシートや「あつまれエコキッズ」の案内の配布が紙からメールに変更となった。それにより応募数もしくは実施率が下がっているのではないかと危惧している。ペーパーレスの時代であるが、紙のままで続けていくものもあってもよいのではないか。

#### <基本方針②（シート No. 3～5）について>

##### 【No. 3】市域の温室効果ガス排出量

##### 【No. 4】市内の再生可能エネルギーによる発電電力量

- ・再生可能エネルギーの導入は全国的に伸びていない。委員としては高い目標とコメントしているが、高い目標を達成するための方法については考えあぐねている。東京都の事例では、今後新しく建てるマンションに対して再生可能エネルギー発電の導入を事業者に対して義務化したのが、奈良市としてそのような施策を検討しているか。  
→奈良市としては、現時点では考えていない。
- ・再生可能エネルギー導入よりも、まず省エネのための断熱が重要である。寒い時期の断熱だけではなく、夏場などの暑い時期においても断熱は重要である。

- ・最近の地球温暖化に伴う気象災害は、人間の活動による人災だと思われる。一刻も早く地球温暖化を食い止めるために太陽光発電などの再生可能エネルギーを増やしていかなければならない。そのなかでも、中小企業は事業者数が多いが費用面において導入がなかなか進まない点があるが、行政の後押しが必要だと思う。引き続き補助金を付けるなど方法はあると思うが、その点は行政としてどのように考えているのか。  
→奈良市においても中小企業が多いので補助金を出すのは良いと思うが、市の財政のことも考えると継続的に補助を出すのは難しい。ただ、国の脱炭素先行地域の交付金を狙い、市内の一部の地域に絞るなどして中小企業への導入方法を専門家の意見を取り入れながら奈良市でのモデルの検討を進めていければと考えている。
- ・太陽光パネルは設置したら終わりということではない。入れ替えや廃棄という問題も抱えている。設置から廃棄まで含めて、国は道筋を作ろうとしている最中である。設置者に対して、設置後のことも含めてアナウンスする必要があるのではないか。また、太陽光発電は導入後、年数が経つとパワーコンディショナーの変換効率が落ちてくるので、入れ替えが必要となる。その費用も高い。
- ・一般家庭でももっと太陽光発電など導入できれば、再生可能エネルギーの発電量が増えると思われるので、可能性はまだまだあると思われる。ただし、太陽光発電の導入において、金額は下がってきているとはいえ、一般家庭では導入には費用面ではなかなか進まない現状であるのではないか。

#### 【No. 5】公共交通利用による観光入込客数

- ・議論なし

#### <基本方針③（シート No. 6~7）について>

##### 【No. 6】過去5年間の新たな認定新規就農者数

- ・新しい視点で新規就農者を増やすことは良いことである一方、昔ながらの製法や視点も取り残しながら今後展開していければ良いと思う。
- ・農産物のPR方法については都道府県により様々であるが、PRの方法によっては認知度が上がることがある。PRの方法についての何か考えはあるのか。  
→担当課に確認しておく。
- ・近年、有機栽培が奨励され始めている。また、海外では特に有機栽培の日本の米とお茶が人気である。有機栽培であれば、化学肥料を使用した場合に発生する温室効果ガスの一種である一酸化二窒素の排出を抑制することができる。そのようなことも含めてPRできれば良いと思う。

**【No. 7】 奈良県産学校給食地産地消率**

- ・奈良県産学校給食地産地消率についての指標であるが、有機栽培であるべきなど作り方のことまでは言及していないのか。  
→作り方までは求めている。あくまで奈良県産であることを求めている。

**<基本方針④（シート No. 8～9）について>**

**【No. 8】 1人1日あたりの家庭系ごみ搬入量**

**【No. 9】 事業系ごみ搬入量**

- ・食品ロスを削減することは、エアコンを我慢するよりも温室効果ガス削減にかなり効果的であると、最近になって消費者庁と環境省とが共同で言い出した。食品ロス削減対策は、単なる循環型システムの一環との位置付けだけでなく、脱炭素のための明確な対策でもある。温暖化対策のためにも、もっと食品ロス削減をPRするほうが良いと思う。
- ・食品ロス削減のための、飲食店における食べ残し対策の環境省推奨制度「mottECO」の実施している店を市で認証する等の取り組みはしているか。  
→そのような取り組みはしていない。
- ・食べ残しの持ち帰りの件は、食中毒の懸念があるので保健所が警戒している。時期や食材、店によっても基準が異なると思うので認証制度というものは難しいと思われる。仮に、認証制度を取り入れる為には、衛生部局の保健所と協議しなければならないであろう。

**<基本方針⑤（シート No. 10～12）について>**

**【No. 10】 大気環境基準達成率**

**【No. 11】 河川 BOD 環境基準達成率**

**【No. 12】 グリーンサポート制度による公園管理率**

- ・最近話題の有機フッ素化合物について、奈良市において何かわかることがあれば教えて欲しい。  
→奈良市内の一部の主要な河川において、現在は年1回、有機フッ素化合物である PFOS および PFOA の測定を行っている。その測定結果は、翌年度に環境省へ報告している。測定結果は公表されているものであるため、環境省ホームページからでも確認できる。

### <全分野の総括について>

- ・構成の問題であるが、3つ程度の見出しを付けて記載していただきたい。
- ・地球温暖化をもっと前面に押し出し、危機感を抱くようなコメントのとりまとめをお願いしたい。

⇒いただいたご意見を集約してコメントとりまとめ案を修正し、推進会議参加者へメールで確認を依頼する。

### (2) その他

#### <令和6年度（2024年度）指標別点検評価基準表（案）について>

昨年度の推進会議にて小松原氏より、【資料5】【別記】に示してある各指標の点検評価基準表についてSDGsの観点（視点）を取り入れるべきことが望ましいとの意見を頂いた。今年度の各指標の点検評価基準表を作成すべく、内容について思案しているところである。そこで、本件について参加者の皆様の具体的な意見を頂戴したく、会議の議題として挙げた。

【資料6】の1ページ目には、指標別点検評価基準表の記載例（案）を示してある。SDGsの観点（視点）を取り入れるべく、関連するSDGsの目標（アイコン）を記載している。各担当課へこの基準表の作成を依頼する際には、このように関連するSDGsの目標（アイコン）を記入してもらい、その後、自己評価の段階においては、これらのSDGsの目標について意識して達成できたかを確認してもらいたい意味でも、このような形としている。

2ページ目には、参考資料として基本方針、指標、担当課を一覧としSDGsの目標（アイコン）と共に記載している。

このような案で点検評価基準表を作成しようと思うが、何か具体的な意見があればご教示いただきたい。

#### ○質疑・意見の要旨

- ・SDGsの目標を選ぶ際、アイコン表記ではなく、文字で記載するほうがよいのではないか。
- ・評価点の2点と3点のところを、もう少し違いを明確にできればよいのではないか。
- ・SDGsの17の目標に各10項目程度の具体的な中身がある。それと関連づけることができればよいのではないか。

⇒いただいた意見を参考に再度事務局で案を練り直すこととなった。

以上